

# パイン#7800

1. 系統 二液性変性シリコーン樹脂系塗料（耐熱耐薬品防食塗料）：耐熱温度 250℃
2. 特徴
- 1) 腐食性ガスや露点腐食に強い抵抗性を示す。
  - 2) 耐硫酸性・耐硝酸性・耐弗化水素性に優れる。
  - 3) 常温でも硬化し、耐熱性・密着性に優れる。
3. 用途
- 1) 煙突・煙道・煙道関連機器の防食用。
  - 2) 耐熱・耐薬品環境用。

## 4. 塗料性状

項目	内 容				
容 姿	2 液性				
荷 姿	16kg セット、4kg セット				
色 相	グレー				
光 沢	5 分つや				
密度 (23℃)	塗 料	1.49 (主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.80			
加 熱	残 分	72wt%			
乾燥時間	温 度	5℃	20℃	30℃	40℃
	指 触	24 時間	8 時間	2 時間	1 時間
	硬 化	48 時間	16 時間	4 時間	2 時間
標 準	膜 厚	125μm (エアレス塗装) 30μm (刷毛)			
引 火 点	SDS 参照				
発 火 点	SDS 参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS 参照				
貯蔵安定期間(20℃)	6 ヶ月				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

## 6. 施工上の注意

- (1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。混合後は硬化反応が進行するので、可使時間内に使いきる。
- (2) 被塗面の錆、油脂、湿気、じんあいなどの有害な付着物は完全に除去する。
- (3) 希釈にはパイン#7800 溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- (4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- (5) エアレススプレー塗装の場合は塗料を 60~80 メッシュの金網でろ過する。
- (6) 本塗料を塗装した後の、長期間の暴露放置は避ける。塗装間隔がオーバーした場合は、塗膜表面をサンドペーパー又はパワーブラシ等にて目荒しし、ウエスで拭いてから塗り重ねる。
- (7) 塗装終了後は 3 日以上養生期間をおく。期間中 10℃ 以下の場合にはさらに延長する。
- (8) 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

## 5. 塗装基準

項目	内 容				
下 地 処 理	ISO Sa2.5(SSPC-SP10)				
調 合 法	主剤：96 部、硬化剤：4 部（重量比）				
熟 成 時 間	約 10 分 (20℃)				
可 使 時 間	10℃	20℃	30℃	40℃	
	6 時間	4 時間	3 時間	2 時間	
塗 装 方 法	エアレス塗装、刷毛塗り				
使用シンナー	パイン#7800 溶剤				
塗 装 方 法	塗 装 方 法	エアレス塗装		刷毛塗り	
	希 釈 率	10~20wt%		5~15wt%	
	標 準 使 用 量	0.53kg/m <sup>2</sup>		0.15kg/m <sup>2</sup>	
	標 準 膜 厚	125μm		30μm	
	ワット管理膜厚	350μm		100μm	
エアレス塗装条件	1 次圧 0.5MPa(5kg/cm <sup>2</sup> )以上				
	2 次圧 17.5MPa(175kg/cm <sup>2</sup> )以上				
チップ No.163-419					
塗 装 間 隔	温 度	5℃	20℃	30℃	40℃
	最 小	36 時間	18 時間	12 時間	9 時間
	最 大	7 日			

## 7. 適合する塗料

## 8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危 険 物 表 示	第 4 類第 1 石油類	第 4 類第 1 石油類
有 機 溶 剤 区 分	第 2 種有機溶剤含有	第 2 種有機溶剤含有
有 害 物 質 表 示	トルエン、	トルエン
劇 物 表 示	—	—

## 9. 使用上の注意【警告】

- (1) 引火性の液体である。
- (2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事部（塗料担当）

〒734-0001 広島市南区出汐 2 丁目 3 番 29 号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251